



鑛山保安におけるヒュマニテイと經濟性

資源廳鑛山保安局長 芦澤大義

われわれは、われわれの未だ及ばぬところを研磨し、未だ知らぬところを究明して鑛山の犠牲の低減絶滅に努力しなければならぬ。そして少くともわれわれのこの努力の實績をわれわれの子孫に示すところがなければならぬと思ふのである。この努力への情熱は人類愛護への情熱であつて、鑛山保安思想の根底の一はここに發するものである。従つて保安に對して情熱と信頼を捧げるものは、ヒュマニテイへの愛と信頼を忘れることは出来ないものであると思ふのである。いや更に保安はヒュマニテイへの確固不拔の信念を基盤とするが故にその強固さを加えらると思はれる。

他方鑛山保安は現在の經濟法則の下における鑛山企業或は鑛山經營のうちにあつての生産との一體性に、その意義が把握されなければならないところに注目される要がある。保安を無視した鑛物生産は生産原價の高きを數かければならない。極言するならば保安を全く無視した經濟的生產はあり得ない。保安を全く無視した經濟的生產があると豪語するものは、保安を保安として意識していないに過ぎないといふことが出来る。保安の鑛業における重要性はここに存する。併し、この保安の經濟的重要性は鑛業における生産の經濟性の埒外には決して存在するものではないといふところに亦、生産と保安との一體性の反面の性格があることを、銘記しなければならぬことは勿論である。即ち、保安の經濟的限界性があることを意味する。とはいへ、この經濟的限界性を乗り超えたが爲に鑛業が衰亡したといふ例を寡聞にして聞かない、ここに亦保安の特性を見出すことが出来ると思ふ。

保安の向上は一、施設の改善、二、技術の進歩、三、教育の徹底、四、機構の整備、五、精神の昂揚等の具體的施策の實施とその充實の中に求めることが出来るであらう。併し、從來の災害を事故別に見るとき不注意に因ると見られるものが、常に大半を占めてゐることに鑑み、人の不注意の除去といふことが重要な問題であつて、このことは家庭の内部にまでも及ぶ人の内心の保安ともいふべき廣範に展開してゐる分野の存在を示す。

これら保安向上の具體策を如何に取捨し選擇するかは、鑛山自體に課せられた問題であるが、今や全國鑛山保安週間の展開に際して鑛山保安のヒュマニテイと經濟性との全く異つた二つの立脚點に關する問題を提起するのは、各鑛山そのものが、各自に最適の保安効率を見出すべき根底に各鑛山に共通する何ものかがあることを考えるからに外ならない。

米國における鑛山保安の標語に Safety is everybody's business といふのがあつたと聞いたが、まことに保安は鑛業に従事し又は關與する凡てのものゝ冷靜にして絶えざるしかも撓まぬ仕事である。

日本鑛業協會誌(第四卷第七號)

七月號目次

▽卷頭言

☆鑛山保安におけるヒュマニテイと經濟性 芦澤大義 一

☆日本開發銀行について 岡田豊 二

☆管理者訓練計畫の概要… 松本不二夫… 五
☆協會賞研究發表
DL 爐の稀薄瓦斯繰返し操業について 岩隈利道 二
小渡武夫 二

☆第十國會通過法律から コールドウエル博士… 三
☆日本の鑛石を有利に處理するには

☆選鑛作業は如何にして科學的に管理さるべきか… 三
☆鑛山の科學管理 三野英彦… 三

科學管理の歩みをかえり見て 渡邊 一… 三六

▽土地調整委員會はどんな仕事をする 役所か… 二七

▽協會だより… 二六

▽ニュース… 三〇

▽資料… 三三

【表紙寫眞】

日本曹達株式會社舟打鑛業所本坑の
鑿坑ケージ